

都市再生整備計画 事後評価シート  
岐阜羽島新都心地区

平成23年3月

岐阜県羽島市


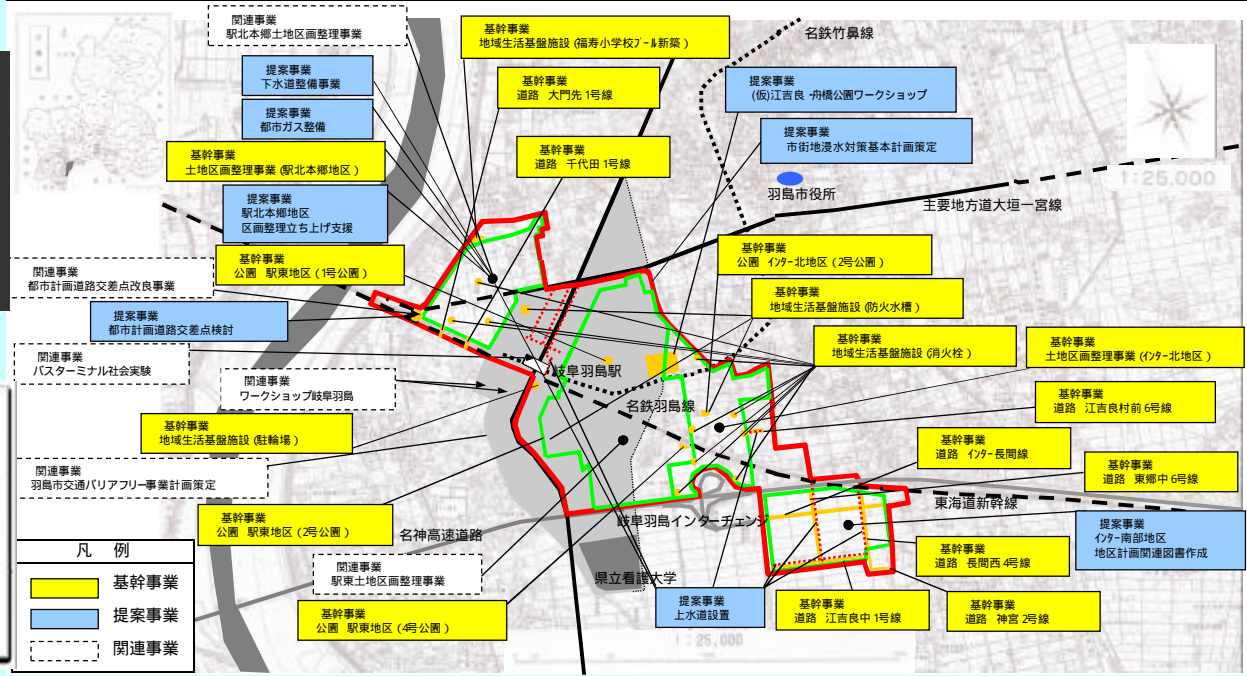


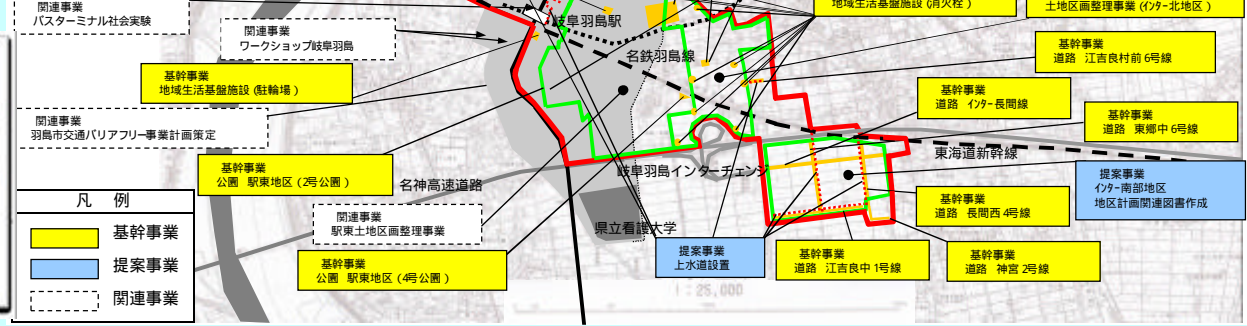

様式 2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	羽島市		地区名	岐阜羽島新都心地区			面積	187ha			
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	3,164	国費率	0.406					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】インター長間線・江吉良中1号線・東郷中6号線・長間西4号線・江吉良村前6号線 【公園】駅東地区(1号公園) 駅東地区(2号公園) 駅東地区(4号公園)・インター北地区(2号公園) 【地域生活基盤施設】耐震性貯水槽 土地区画整理事業】インター北土地区画整理事業地区内											
		提案事業	【地域創造支援事業】消火栓設置 事業活用調査】区画整理立ち上げ支援 地区計画関連図書作成 まちづくり活動推進事業】ワークショップ											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業												
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】神宮2号線・大門先1号線・千代田1号線 【地域生活基盤施設】消火栓設置・福寿小学校プール新築・自転車駐輪場 土地区画整理事業】駅北本郷土地区画整理事業		事業認可に伴い、円滑な進捗を地区外との連結により、道路整備の早期発現を図る。			影響なし						
		提案事業	【地域創造支援事業】上水道整備・都市ガス整備・下水道整備 まちづくり活動推進事業】都市計画道路交差点検討		土地区画整理事業と合わせインフラの基盤整備を行うことで、地区内の土地のポテンシャルを高める。			影響なし						
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	平成18年度～平成22年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	居住人口	人	4,903	基準年度	平成17年度	目標年度	平成22年度	モニタリング	評価値	5,057	あり なし	土地区画整理事業を中心に居住環境の整備を行い、居住人口の増加に努めた。	平成23年6月
	指標2	インター南部地区住民不満率の改善	%	69	平成16年度	35	平成22年度			35	あり なし	住民の意見により、地区の産業発展を目指した基盤整備を行い、企業誘致が可能な環境を整えた。	平成24年6月	
	指標3	消防水利施設整備面積率	%	55	平成16年度	75	平成22年度			70.3	あり なし	重点的に消防水利施設が不足している地区の整備を行い、消火困難区域の改善に努めた。	平成23年6月	
	指標4	地区内の1人当たりの公園面積	m <sup>2</sup> /人	2.1	平成16年度	3.0	平成22年度			3.11	あり なし	公園整備・土地区画整理事業により、目標値の30%を達成できた。	無し	
	指標5										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度 <sup>1)</sup>	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	小学校児童数の増加	人	1,249	平成17年度							基盤整備による居住環境の改善により、子育て世帯を中心とした地区内居住が進行し、児童数の増加につながった。	平成23年6月	
	その他の数値指標2	江吉良地区の住宅の着工数	件	18	平成17年度					35		江吉良地区の住宅着工件数が整備前の18件に対し、整備後は35件に増加したことから、土地区画整理を中心に地区内の基盤整備の効果が発揮されたと言える。	平成23年6月	
	その他の数値指標3	進出企業からの問い合わせ数の増加	件	10	平成17年度					17		道路整備を中心に地域の基盤を総合的に整備し、企業進出の可能な環境を整えたため。	平成23年6月	
	その他の数値指標4	市街化区域内における消防水利施設整備面積率	%	65	平成17年度					75		地区内の市街化区域において消防水利施設を重点的に整備し、地区内の課題の改善に努めた。	平成23年6月	
4)定性的な効果発現状況	街づくり推進協議会やまちづくり委員会を繰り返し開催することで、住民のまちづくりに対する関心が高まる共に、公園整備や土地区画整理事業により、安全で快適な居住環境の形成を図ることができた。さらにインター南部東地区では、住民の意見を反映した産業発展を目指した基盤整備を行い、企業活動が円滑に行える地区の形成により、住民不満率を低下させることができた。													
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等		
	モニタリング	無し	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	住民参加プロセス	街づくり推進協議会(インター北土地区画整理事業) 2回開催 まちづくり委員会(駅北本郷土地区画整理事業) 28回開催 ワークショップの開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									土地区画整理事業の進捗に伴う、都市基盤整備の状況についての確認や、公園整備及び利用方針等について地元からの要望を取りまとめることで、住民参加型のまちづくりを行う。		
	持続的なまちづくり体制の構築	街づくり推進協議会(インター北土地区画整理事業) 2回開催 まちづくり委員会(駅北本郷土地区画整理事業) ワークショップ	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									土地利用及び整備方針等について、羽島市及び各地区の地権者の代表者にて協議を行い、まちづくり体制を継続する。		

## 様式2-2 地区の概要

岐阜羽島新都心地区(岐阜県羽島市)都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値			
岐阜県の玄関口としての機能を生かした拠点づくりを行い、地域の活性化を図る。 目標1: JR新幹線岐阜羽島駅と岐阜羽島インターチェンジを結ぶバイパス的な道路網を構築し、ネットワークの拡大を図る。 目標2: 公園及び消防水利施設の整備により、安全で快適な居住環境の形成を図る。 目標3: 立地条件を活かした基盤整備を行い、企業を誘致することで低未利用地の減少を図る。		居住人口	単位:人	4,903	H17	5,300	H22	5,057	H22
		インター南部地区住民不満率の改善	単位: %	69	H16	35	H22	35	H22
		消防水利施設整備面積率	単位: %	55	H16	75	H22	70.3	H22
		地区内の1人当たりの公園面積	単位: m <sup>2</sup> /人	2.1	H16	3.0	H22	3.11	H22

<p><b>福寿小学校プール新築</b></p> 	 <p><b>凡例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基幹事業</li> <li>■ 提案事業</li> <li>- - - 関連事業</li> </ul>	<p><b>公園整備事業</b></p> 
<p><b>駐輪場整備</b></p> 		<p><b>道路整備事業</b></p> 

<p>まちの課題の変化</p>	<p>経済状況によりエリア全体の住宅着工件数は伸び悩み、居住人口の定着には至らなかったこと                      インター南部地区においては、道路整備等の基盤整備を行い、企業誘致が可能な環境を整えることができたため、今後は一層企業誘致を進めていく。                      インター南部地区については、企業の進出に合わせて今後も消防水利施設の整備を促進させる。                      当市の市街地内における公園整備の水準は低く、今後も継続的に行っていく必要がある。</p>
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>	<p>継続的に企業誘致を行いインター南部地区内の経済活動の活発化を図りながら、あわせて消防水利施設の整備を促進させる。                      土地区画整理事業を継続的に行うことで、地域の無秩序な開発を未然に防止し、良好な市街地を形成し、地区内の居住人口の定着を目指していく。                      都市防災機能を高めるために、さらなる公園整備を行ったり、地域防災計画に避難所として指定をされている公共施設の耐震化を実施していく。</p>

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式 1- 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式 1- 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況 (完成状況)
- 添付様式 2- 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式 2- その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標) による計測される効果発現の計測
- 添付様式 2- 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式 3- モニタリングの実施状況
- 添付様式 3- 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式 3- 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式 4- 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式 4- 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式 4- 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式 5- 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式 5- まちの課題の変化
- 添付様式 5- 今後のまちづくり方策
- 添付様式 5- 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式 5- 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式 6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式 6- 参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称 (当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式 7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式 8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式 9 有識者からの意見聴取

## (1) 成果の評価

### 添付様式 1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標					
B. 目標を定量化する指標					
C. 目標値			地区内に居住する人口 (6,200人) 消防水利施設整備面積率 (70%)	地区内に居住する人口 (6,300人) 消防水利施設整備面積率 (75%)	地区のエリア拡大に伴い目標値の見直しを図ったため。 消火栓の設置箇所数の増加に伴い、消防水利施設整備面積率が増加するため。
D. その他 (区域面積)			17.7ha	18.7ha	大目標である地域活性化効果の拡充や、企業立地の効果を早期に発現させるため。

添付様式 1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況 (事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	インター長間線	195	L=630m (H19～H20)	428	L=630m (H18～H22)	不動産鑑定評価の採用、過年度整理、スケジュールの見直しにより変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
道路	江吉良中1号線	148	L=530m (H18～H19)	264	L=530m (H18～H21)	不動産鑑定評価の採用、過年度整理、スケジュールの見直しにより変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
道路	東郷中6号線	85	L=400m (H21～H22)	96	L=400m (H19～H21)	不動産鑑定評価の採用、過年度整理、スケジュールの見直しにより変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
道路	長間西4号線	79	L=390m (H21～H22)	91	L=443m (H18～H21)	不動産鑑定評価の採用、過年度整理、スケジュールの見直しにより変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
道路	神宮2号線	-	-	37	L=97m (H19～H20)	インター南部地区計画区域内で整備する道路と一体的に整備するため追加	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
道路	江吉良村前6号線	120	L=160m (H20～H22)	60	L=100m (H18～H21)	他事業との関連による早期着手 過年度整理による事業費の変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
道路	大門先1号線	-	-	19	L=37m (H21～H22)	高架下道路を整備することで、道路整備効果の発現を早期に図る	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
道路	千代田1号線	-	-	5	L=38m (H22～H22)	高架下道路を整備することで、道路整備効果の発現を早期に図る	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
公園	駅東地区(1号公園)	26	A=1,201㎡ (H18～H18)	25	A=1,201㎡ (H18～H18)	過年度整理による事業費の変更	影響なし。		
公園	駅東地区(2号公園)	30	A=2,148㎡ (H20～H20)	29	A=2,148㎡ (H19～H19)	整備の早期着手 過年度整理による事業の変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
公園	駅東地区(4号公園)	30	A=2,000㎡ (H19～H19)	32	A=2,000㎡ (H18～H18)	整備の早期着手 過年度整理による事業の変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
公園	インター北地区(2号公園)	23	A=1,087㎡ (H22～H22)	25	A=1,087㎡ (H20～H20)	整備の早期着手 過年度整理による事業の変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
河川									
下水道									
駐車場有効 利用システム									
地域生活基盤施設	耐震性貯水槽	30	100m <sup>3</sup> 2箇所 (H19～H22)	42	100m <sup>3</sup> 3箇所 (H18～H20)	整備の早期着手 安全施設 駐輪場の追加等	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
地域生活基盤施設	消火栓設置	-	-	4	10基 (H18～H22)	整備の早期着手 安全施設 駐輪場の追加等	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
地域生活基盤施設	福寿小学校プール新築	-	-	241	A=1,863m <sup>2</sup> (H19～H21)	整備の早期着手 安全施設 駐輪場の追加等	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
地域生活基盤施設	自転車駐輪場	-	-	5	A=175m <sup>2</sup> 150台 (H19)	整備の早期着手 安全施設 駐輪場の追加等	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
高次都市施設									

1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式 1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況 (事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業 (都市再生)	インター北土地区画整理事業地内	826	23.3ha (H13～H23)	826	23.3ha (H18～H20)	早期完了に伴う事業年度の変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
土地区画整理事業 (都市再生)	駅北本郷土地区画整理事業地内	-	-	562	23.3ha (H19～H22)	事業推進のための資金として充当	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
住宅市街地総合整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	上水道設置	-	-	193	8,340m (H20～H22)	インター南部地区の道路築造と併せ、 上水道整備を実施	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
	都市ガス整備	-	-	29	23.3ha (H22～H22)	土地区画整理事業に併せ、都市ガス 整備を実施	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
	下水道整備	-	-	70	23.3ha (H22～H22)	土地区画整理事業に併せ、下水道整 備を実施	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
	消火栓設置	3	6基 (H18～H22)	1	4基 (H22～H22)	基幹事業の地域生活基盤施設への変 更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
事業活用調査	区画整理立ち上げ支援	15	22.9ha (H19～H20)	65	23.5ha (H18～H19)	事業の早期着手、区域の拡大、測量業 務の追加による事業費の増加	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
	地区計画関連図書作成	5	22.0ha (H18～H18)	3	22.0ha (H18～H18)	過年度整理による事業費の変更	影響なし。		
まちづくり 活動推進事業	ワークショップ	10	15人 (H21～H21)	9	15人 (H22～H22)	他事業を優先的に実施するため、事業 実施を翌年に変更	指標に関連するが、数値目標は据え置く		
	都市計画道路交差点検討	-	-	3	1箇所 (H19～H19)	歩行者の安全や交通の円滑化を図る ため、交差点の検討を追加	指標に関連するが、数値目標は据え置く		

1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
観光交流拠点(バスターミナル)社会実験		岐阜羽島駅前公園周辺	6	6	平成17年度	平成17年度	完了	
羽島市交通バリアフリー事業計画策定		岐阜羽島駅周辺地区	12	12	平成15年度～平成17年度	平成15年度～平成17年度	完了	
ワークショップ岐阜羽島		福寿町平方地内	39	39	平成13年度	平成13年度	完了	
駅東土地区画整理事業(特会)		駅東地区	8,900	8,900	平成6年度～平成18年度	平成6年度～平成18年度	完了	
インター北土地区画整理事業(特会)		インター北地区	3,301	3,570	平成13年度～平成23年度	平成13年度～平成23年度	平成23年度完了予定	
駅北本郷土地区画整理事業(特会)		駅北本郷地区	-	2,240		平成19年度～平成26年度	平成26年度完了予定	
都市計画道路交差点改良事業		掘津本郷線・大垣一宮線交差点	-	95		平成21年度～平成22年度	平成22年度完了予定	



添付様式 2 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	参考) 1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値 (エ)		目標達成度 2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	確定	見込み	あり	なし					
指標1	居住人口	人	平成22年6月1日時点の住民基本台帳から地区データを抽出し、当該地区の居住人口とし、過去の人口動態を勘案して評価基準日の値を推定する。 (羽島市市民課主体)	4,099	10	4,903	17	5,300	22	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定	見込み	5,057	事後評価	
指標2	インター南部地区住民不満率の改善	%	インター南部東地区の土地所有者を対象に、平成22年8月にアンケート(満足度・不満な理由・将来のまち・将来の意向等)を実施し、集計結果より値を算出する。 (羽島市区画整理課主体)	/	/	69	16	35	22	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定	見込み	35	事後評価	
指標3	消防水利施設整備面積率	%	平成22年3月31日の羽島市消防本部総務課集計データに基づき対象地区を細分化した上で、この各区域における消防水利施設の有無を集計して整備面積率を算出する。 (羽島市消防本部総務課主体)	/	/	55	16	75	22	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定	見込み	70.3	事後評価	
指標4	地区内の1人当たりの公園面積	㎡/人	平成22年3月31日の羽島市都市計画課集計データを基準とし、地区内の1人あたりの公園面積を算出する。 (羽島市都市計画課主体)	/	/	2.1	16	3.0	22	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定	見込み	3.11	事後評価	
指標5				/	/					モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定	見込み		事後評価	

指標	目標達成度 × の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	少子高齢化・人口減少といった厳しい社会情勢の中、当地区では、良好な居住環境を形成し目標には至らなかったが、地区内の居住人口の増加を実現することができたため「 」と判断した。	
指標2	目標値を達成することができたため「 」と判断した。	
指標3	企業誘致が遅れたインター南部東地区を除けば、地区内の消防水利施設を整備することができた。結果としては、目標値を達成することはできなかったが、地区内に十分な消防水利施設の整備が行うことができたため「 」と判断した。	
指標4	目標値を達成することができたため「 」と判断した。	

1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前 (概ね10年程度前) の値のことをいう。  
 2 目標達成度の記入方法  
 評価値が目標値を上回った場合  
 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合  
 × 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2 - その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) 1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値 (ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)	
			基準 年度		基準 年度		モニタリ ング	事後評価				
その他の 数値指標1	小学校児童数の増加	人	学校基本調査(文部科学省)の基礎資料として羽島市教育委員総務課が平成17年5月1日時点の集計したデータを基準とする。対象小学校は区域内の基盤整備により効果が見込める中央小学校及び福寿小学校とする。 (羽島市教育委員会教育総務課)			1,249	17	モニタリ ング	確定	1,274	指標1を補完し、まちづくりの目標に掲げた、安全で快適な居住環境の形成が図られたかを小学校児童数の増加により確認するため。	
その他の 数値指標2	江吉良地区の住宅の着工数	件	羽島市都市計画課が把握している建築物着工確認に基づき集計を行う。区域内には福寿町・江吉良町・舟橋町が属しているが、江吉良町を対象として、平成21年度の実績値を評価値とする。 (羽島市都市計画課)	19	12	18	17	モニタリ ング	確定	35	指標1を補完し地区内の居住人口が増加したことを江吉良地区の住宅の着工件数の増加件数で確認するため。	
その他の 数値指標3	進出企業からの問い合わせ数の増加	件	平成22年7月時点の羽島市総合政策課に連絡のあった、インター南部地区へ進出を希望している企業からの問い合わせを基準とし、単年度ごとの問い合わせ数の動向から、評価値を算定する。問い合わせの内訳については、企業からの来庁及び電話とする。 (羽島市総合政策課)	14	16	10	17	モニタリ ング	確定	17	目標1のネットワーク拡大と指標3の補完をするため、進出企業からの問い合わせ数を計測し、整備効果を確認するため。	
その他の 数値指標4	市街化区域内における消防水利施設整備面積率	%	市町村消防施設整備計画実態調査(消防庁)の基礎資料として羽島市消防本部総務課が集計データ(平成22年度作成)により、消防水利の基準(消防庁告示)に基づき対象地区を細分化した上で、市街化区域内における消防水利施設の有無を集計し、整備面積率を求める。 (羽島市消防本部総務課主体)			65	17	モニタリ ング	確定	75	指標4を補完し、消防水利施設が整備された地区内の市街化区域の整備率を確認するため。	

1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

街づくり推進協議会やまちづくり委員会を繰り返し開催することで、住民のまちづくりに対する関心が高まる共に、公園整備や土地区画整理事業により、安全で快適な居住環境の形成を図ることができた。さらにインター南部東地区では、住民の意見を反映した産業発展を目指した基盤整備を行い、企業活動が円滑に行える地区の形成により、住民不満率を低下させることができた。

## (2) 実施過程の評価

本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること

### 添付様式3 - モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった			

### 添付様式3 - 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
街づくり推進協議会 (インター北土地区画整理事業)	予定どおり実施した		実施頻度：2回開催 実施時期：(H18.5.29) (H21.11.19) 実施結果：今後の街づくりの方針を確認することができた。	土地利用及び整備方針等について、羽島市及び各地区の地権者の代表者にて、段階的に協議会等を行い、まちづくりに関する意見聴取の場を設け、協議内容を議事録に取りまとめたため、今後のまちづくりの方針に活用する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
まちづくり委員会 (駅北本郷土地区画整理事業)	予定どおり実施した		実施頻度：28回開催 実施時期：H18年10回 H19年8回 H20年4回 H21年5回 H22年1回 実施結果：今後のまちづくりの方針について確認することができた。	土地利用及び整備方針等について、羽島市及び各地区の地権者の代表者にて、段階的に協議会等を行い、まちづくりに関する意見聴取の場を設け、協議内容を議事録に取りまとめたため、今後のまちづくりの方針に活用する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
ワークショップ	予定どおり実施した		実施頻度：2回開催 実施時期：(H22.10.23) (H22.11.27) 実施結果：今後の公園整備について確認することができた。	住民参加型のまちづくりとして、公園整備及び利用方針等について、ワークショップを開催し、地元からの要望を議事録に取りまとめることで、今後の公園整備構想に活用する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

### 添付様式3 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			体制構築に向けた取組内容	まちづくり組織名・組織の概要	
街づくり推進協議会(インター北土地区画整理事業) まちづくり委員会(駅北本郷土地区画整理事業)	予定どおり実施した		今後のまちづくりのあり方について、行政と住民との間で頻繁に意見交換を行った。	街づくり推進協議会 まちづくり委員会	交付期間終了後においても、土地利用及び整備方針等について、羽島市及び各地区の地権者の代表者にて協議を行い、まちづくり体制を継続する。協議会等により集約された意見については、議事録により取りまとめを行い、今後のまちづくりに活用する。
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				
ワークショップ	予定どおり実施した		(仮称)江吉良・舟橋公園の整備に向けた住民参加型のワークショップを開催	(仮称)江吉良・舟橋公園「公園づくりワークショップ」	交付期間終了後においても(仮称)江吉良・舟橋公園整備に関する事項について、住民からの要望を聴取することで、住民が利用しやすい公園整備を目指す。ワークショップにより集約された意見については、議事録に取りまとめを行い、今後の公園整備構想に活用する。
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式 4 - 効果発現要因の整理にかかるとの検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画調整会議	区画整理課 課長 杉山 幸男 都市計画課 課長 安藤 勝幸 水道課 課長 松永 順二 下水道課 課長 堀 善治 教育総務課 課長 浅野 信夫 防災交通課 課長 志智 勝 区画整理課 係長 林 憲 主事 田中 隆介	平成 22年 5月 27日	羽島市役所 区画整理課

添付様式 4 - 数値目標を達成した指標にかかるとの効果発現要因の整理

種別	指標の種別 指標名	指標2		指標4		その他の数値指標1		その他の数値指標2		その他の数値指標3		その他の数値指標4							
		指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見						
基幹事業	【道路】インター長間線		事前アンケートで地区内の約60%の住民が、羽島インターチェンジを生かした企業活動の盛んなまちづくりを要望していた。道路事業や土地区画整理事業を通して地域の土地利用の改善を目指した結果、住民の不満率を目標値の35%まで低下させることができた。 引き続き企業誘致を行うために、地権者や地元自治会で構成される「街づくり推進協議会」を母体にして検討を行っていく		土地区画整理事業・公園整備を通して地区内に十分な公園を整備することで、整備前の1人当たりの公園面積2.1㎡から3.1㎡に向上することができ、目標の1人当たりの公園面積率を3.0㎡以上にすることができた。 土地区画整理事業の併用により安全な居住空間の形成も整備することができた。		当該地区近隣には福寿小学校、地区内には中央小学校が立地しており、子育て世帯には優れた立地条件が整備されている。 このような状況に対して、土地区画整理事業・公園整備事業を通して、地域の市街化を図ると同時に安全で快適な居住環境を形成させたことが、新興住宅地の建設を促した。その結果、小学生児童生徒数が1,249人から1,274人への増加した。		土地区画整理事業を中心に道路整備や防災整備等の総合的なインフラ整備を行うことで、地区内の住宅居住環境の向上を図ることができた。その結果、すみやすい環境を地区内に提供することができ、17件の住宅着工件数の増加につなげることができた。		平成16年から平成22年の企業の照会件数のトレンドについては、年々増加していると言える。平成17年の照会件数は10件であったが、平成20年・平成21年の照会件数はいずれも平成17年の照会件数を上回った。 長間西4号線等のインター南部地区の基盤整備により、大幅なアクセス性の向上が図られ、企業誘致を促進することが可能な環境を整えることができた結果であると言える。		地区内の全体の消防水利施設の整備率については、目標値を達成することはできなかったが、地区内の市街化区域においては、消防水利施設の整備率が75%であった。羽島市の中心市街地においても整備前は課題を抱えていたが、消防水利施設を整備することにより、安心・安全なまちを形成することができた。						
	【道路】江吉良中1号線																		
	【道路】東郷中6号線																		
	【道路】長間西4号線																		
	【道路】神宮2号線																		
	【道路】江吉良村前6号線																		
	【道路】大門先1号線																		
	【道路】千代田1号線																		
	【公園】駅東地区(1号公園)																		
	【公園】駅東地区(2号公園)																		
	【公園】駅東地区(4号公園)																		
	【公園】インター北地区(2号公園)																		
	【地域生活基盤施設】耐震性貯水槽																		
	【地域生活基盤施設】消火栓設置																		
	【地域生活基盤施設】福寿小学校プール新築																		
【地域生活基盤施設】自転車駐輪場																			
【土地区画整理事業】インター北土地区画整理事業地区内																			
【土地区画整理事業】駅北本郷土地区画整理事業地区内																			
提案事業	【地域創造支援事業】上水道設置																		
	【地域創造支援事業】都市ガス整備																		
	【地域創造支援事業】下水道整備																		
	【地域創造支援事業】消火栓設置																		
	【事業活用調査】区画整理立ち上げ支援																		
	【事業活用調査】地区計画関連図書作成																		
	【まちづくり活動推進事業】ワークショップ																		
【まちづくり活動推進事業】都市計画道路交差点検討																			
関連事業	観光交流拠点(「スター」)社会実験																		
	羽島市交通バリアフリー事業計画策定																		
	ワークショップ岐阜羽島																		
	駅東土地区画整理事業(特会)																		
	インター北土地区画整理事業(特会)																		

指標改善への貢献度  
 ・事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。  
 ・事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。  
 ・事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。  
 ・事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	企業誘致を行い、住民の不満を一層解消するため、羽島インター周辺の立地条件を生かし、商業活動の促進を目指す。	地域の住民の願いの場として活用すると同時に災害時の緊急救援活動の場として活用を図っていく	今後も、子育て世帯の定住化を目指し、小学生児童数の増加を目指していくことで、地域の活性化につなげる。	住宅着工数を今後も増加させるため、総合的な基盤整備を継続的に、着工数の増加を図り、地域の居住人口の定着を図っていく	企業誘致により、より一層の地域の活性化を行えるように、まちづくり協議会等を通じて今後の企業誘致を検討していく。	地区内の市街化区域消防水利施設の整備は十分な整備率を確保することができたため、これらのハード整備を有効活用できるように防災訓練等のソフト対策を検討する。
-------	---	--	--	---	---	--

(3) 効果発現要因の整理

添付様式 4 - 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1			指標3		
指標名		居住人口			消防水利施設整備面積率		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	【道路】インター長間線		少子高齢化、人口減少、国内経済の悪化等の社会情勢の影響もあり目標とした居住人口を達成することはできなかった。一方で、地区内の居住環境については、土地区画整理事業を行い、居住環境の向上を図ることができた。併せて、上下水道施設や都市ガス等のライフラインの整備を実施することで、地区内の生活水準を向上させることに寄与することもできた。 又、都市計画道路の整備も進み、JR羽島駅と岐阜羽島インターチェンジを生かした、アクセス道路を構築することができた。合わせて、公園の整備も取込み、総合的な整備を実施した。		地区内には、消防水利施設が不足しており、防災対策が不十分であるため、14機の消火栓の新設を行った。消防水利施設整備面積率の目標値である75%を達成することができなかったが、地区内の市街化区域においては消火困難区域面積を減少させることができ、消防水利施設の充足率を向上させることができた。そのため、防災面においては、整備前後で、地区の整備状況を改善することができたと見える。		
	【道路】江吉良中1号線						
	【道路】東郷中6号線						
	【道路】長間西4号線						
	【道路】神宮2号線						
	【道路】江吉良村前6号線						
	【道路】大門先1号線						
	【道路】千代田1号線						
	【公園】駅東地区(1号公園)						
	【公園】駅東地区(2号公園)						
	【公園】駅東地区(4号公園)						
	【公園】インター北地区(2号公園)						
	【地域生活基盤施設】耐震性貯水槽						
	【地域生活基盤施設】消火栓設置						
	提案事業	【地域生活基盤施設】福寿小学校プール新築					
【地域生活基盤施設】自転車駐輪場							
【土地区画整理事業】インター北土地区画整理事業地区内							
【土地区画整理事業】駅北本郷土地区画整理事業地区内							
【地域創造支援事業】上水道設置							
【地域創造支援事業】都市ガス整備							
【地域創造支援事業】下水道整備							
【地域創造支援事業】消火栓設置							
【事業活用調査】区画整理立ち上げ支援							
【事業活用調査】地区計画関連図書作成							
関連事業	【まちづくり活動推進事業】ワークショップ						
	【まちづくり活動推進事業】都市計画道路交差点検討						
	観光交流拠点(バスターミナル)社会実験						
	羽島市交通バリアフリー事業計画策定						
	ワークショップ岐阜羽島						
	駅東土地区画整理事業(特会)						
インター北土地区画整理事業(特会)							
駅北本郷土地区画整理事業(特会)							
都市計画道路交差点改良							

- 目標未達成への影響度
- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
  - ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
  - ：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたとと思われる。
  - ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

- 要因の分類
- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
  - 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
  - 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
  - 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針	土地区画整理事業を継続的に行い、良好な環境を整備し、新興住宅地の形成に努めていく	企業誘致を行いながら、地域の消防水利施設を充実させることで、消防水利施設整備面積率を向上させる。
-------	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式 5 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画調整会議	区画整理課 課長 杉山 幸男 都市計画課 課長 安藤 勝幸 水道課 課長 松永 順二 下水道課 課長 堀 善治 教育総務課 課長 浅野 信夫 防災交通課 課長 志智 勝 区画整理課 係長 林 憲 主事 田中 隆介	平成22年5月27日	羽島市役所 区画整理課

添付様式 5 - まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
地区内道路の整備水準が低く、道路密度も低い。	土地区画整理事業や街路事業を通じて、適正に道路を整備したことにより、地区内の道路の整備水準を向上することができた。合わせて、道路の幅員及び密度を十分に確保した。		
排水施設は用排水兼用のプレハブ水路があり整備が進んでいない。	下水道等の排水施設や用水施設を適正に配置をすることで、用排水の分離を可能とした。		
地区内は公園整備率が低い。	公園整備や土地区画整理事業を通じて、地区内の公園整備を行うことで、地区内の公園整備率を向上させることができた。	公園整備により、地区内の人口に対して、1人当たり33㎡の公園面積を確保することができたが、未だ、当市の市街地内における公園整備の水準は低く、今後も継続的に行っていく必要がある。	
駅東土地区画整理事業は平成18年3月をもって完了したが、公園整備が遅れているため早急に整備を行う	駅東地区においては、3カ所の公園整備を行うことで、課題を改善し、安全で快適な居住環境を形成することができた。		
インター南部地区では、道路が狭小で整備されていないため企業進出の妨げとなっており、改善の必要がある。	インター周辺であるという利便性の良さを生かすために、道路幅員を大幅に拡幅し、9mの道路幅員を確保することができた。その結果、企業を誘致することが可能な環境を整えた。	道路整備を行い企業誘致を行える環境を整えたが、地区内の産業の活力が十分であるとは言えない。又、インター南部地区では、消防水利施設の整備率も低い。	
駅北本郷地区は商業及び住宅地としての市街化目指しており、土地区画整理事業による基盤整備が求められる。	土地区画整理事業により、地域の生活基盤を整備し、住民のニーズに応えた市街地の形成を行った。	住民のニーズに応えた市街地の形成を図ったが、地区内の居住人口数が目標値に達していない。	
狭小道路が多く緊急車両の進入が困難であり、緊急時の避難経路や避難場所が必要である。	土地区画整理事業による生活基盤の整備や街路事業により、緊急時の避難経路や避難場所(公園等)を確保した。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5- A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5- B欄に記入します。

添付様式 5 - 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	居住環境の向上	継続的に道路整備やインフラ(上水道・ガス)整備等を行うことで、快適な居住環境を形成し、地域の市街化に向けた基盤整備を促進していく。	公園(江吉良・舟橋) 土地区画整理事業(駅北本郷土地区画整理事業) 地域創造支援事業(上水道設置 駅北本郷土地区画整理事業地内) 地域創造支援事業(都市ガス設置 駅北本郷土地区画整理事業地内)
	市街地内の公園確保	公園整備を行い住民の憩いと安らぎの場を提供すると同時に市街化区域に十分な緊急救援活動の場を確保する。	公園(江吉良・舟橋)
	インター南部地区の企業誘致の促進	羽島市の恵まれた地理的特性を生かし、周辺市町の中心的役割を果たすため、企業誘致により、一層の地域の活性化を行えるように、まちづくり協議会等を通じて今後の企業誘致を検討していく。	まちづくり委員会の開催

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策	居住人口の増加	基盤整備を継続的に行っていき、地区内の居住人口の定着を図る。	駅北本郷土地区画整理事業

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

様式 5 - の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式 3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式 4 - )を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式 4 - )を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式 5 - )を再確認した。

添付様式 5 - 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

雨水による浸水のおそれなく防災面において長けていることをアピールしていく。  
電線の地中化を図り景観に優れたまちづくりを目指す等の具体的なビジョンを持ってまちづくりを進めていくことが必要である。  
県道(大垣一宮線)より北側の道路はほとんどが幅員6m、幹線道路は14mとなっており、周辺地区が今後どういふ形で発展し、住宅化が進行していくのか検討してほしい。





**添付様式 5 - 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画**

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式 2-1、2-2 に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式 2-1、2-2 から転記して下さい。

評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が「又は×」の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標	単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	
		年度	年度	年度	年度					
指標1	居住人口	人	4,903	H17	5,300	H22	確定	5,057	あり	
							見込み		なし	
指標2	インター南部地区住民不満率の改善	%	69	H16	35	H22	確定	35	あり	
							見込み		なし	
指標3	消防水利施設整備面積率	%	55	H16	75	H22	確定	70.3	あり	
							見込み		なし	
指標4	地区内の1人当たりの公園面積	㎡/人	2.1	H16	3.0	H22	確定	3.11	あり	
							見込み		なし	
指標5							確定		あり	
							見込み		なし	

フォローアップ計画		
予定時期	計測方法	その他特記事項
H23.6	平成23年4月時点の住民基本台帳から地区データを抽出し、その値をもって確定値とする。	
H24.6	「土地利用に関するアンケート」を実施することで、フォローアップ時の確定値を算出する。アンケート対象者は確定値算出時と同じとする。平成24年6月に実施予定。	
H23.6	平成23年4月時点の羽島市消防本部総務課作成の消防水利施設整備面積率集計のデータを確定値とする。	

その他の数値指標1	小学校児童数の増加	人	1,249	H17			確定	1,274		
							見込み			
その他の数値指標2	江吉良地区の住宅の着工数	件	18	H17			確定	35		
							見込み			
その他の数値指標3	進出企業からの問い合わせ数の増加	件	10	H17			確定	17		
							見込み			
その他の数値指標4	市街化区域内における消防水利施設整備面積率	%	65	H17			確定	75		
							見込み			

H23.6	平成23年5月時点の羽島市教育委員会集計のデータを基準として、確定値を求める	
H23.6	平成23年4月時点の羽島市都市計画課が把握している建築物着工確認に基づき、江吉良地区のデータを算出し、確定値を求める。	
H23.6	平成23年4月時点の羽島市総合政策課に連絡のあった、インター南部地区へ進出を希望している企業からの問い合わせ数を基準とし、確定値を算定する。	
H23.6	平成23年4月時点の羽島市消防本部総務課作成の消防水利施設整備面積率集計のデータを確定値とする。	

## 添付様式 6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 成果の達成	うまくいった点	本地区の課題及び目標に即した数値指標を設定し、着実に事業実現を図り、目標値に近づくことができた。	過大な目標の設定をすることなく地区の特性及び事業等に適した指標を選定する。
	うまくいかなかった点	居住人口の数値目標に関しては、過大な目標設定を行い、目標を達成することができなかったこと。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	地区の現状を把握し、地区の課題に対して適切な目標を立て、最も効果が発揮できるような事業選択を行うことができた。	目標を実現するための事業との関係が明確であるとともに、事業効果を的確に示すことができる数値指標を設定する必要がある。
	うまくいかなかった点		
住民参加 情報公開	うまくいった点	駅北本郷土地区画整理事業の事業化の際に、十分に住民の意見を取り得ることができ、住民の声に応えながら地域の市街化を行っていくことができた。	住民がまちづくりに対して参加することで、住民が主体となった活動を行っていく必要がある。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 評価の進め方	うまくいった点	インター南部東地区を中心に道路整備等の計画を見直すことで事業効果の早期発現を目指し、地区の経済活動の基盤を整備することができた。	計画立案段階や事業推進段階において、住民や関係機関の参画を図ることが必要で、定期的に見直しを行う必要がある。
	うまくいかなかった点	インター南部地区の企業誘致を目的に基盤整備を実施したが、社会情勢の不安定により、目的を達成することができなかった。	
その他	うまくいった点	地域の活性化とともに、企業誘致の可能な環境整備を行うことができ、岐阜羽島インターチェンジ等を活かしたまちづくりの基盤整備を行うことができたこと。	地域の特性・特徴・将来のまちづくりに即した整備をすることで、一層の整備効果を得ることが可能となる。
	うまくいかなかった点		

### 添付様式 6 - 参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称 (当該地区の次期計画も含む)

羽島市中心市街地地区 (案) (平成23年度～平成27年度実施予定)

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	羽島市ホームページに掲載	平成22年 9月 1日(水) ~ 平成22年 9月30日(水)	平成22年 9月 1日(水) ~ 平成22年 9月30日(水)	FAX 郵送 電子メール	羽島市役所 区画整理課
広報掲載・回覧 個別配布	羽島市ホームページに原案を 公表する旨を広報に掲載	8月号に掲載 その後、定期的に掲載	平成22年 9月 1日(水) ~ 平成22年 9月30日(水)		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	市役所窓口・市内のコミュニ ティ・センターにて配布	平成22年 9月 1日(水) ~ 平成22年 9月30日(水)	平成22年 9月 1日(水) ~ 平成22年 9月30日(水)		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式 8 評価委員会の審議

委員構成			実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	岐阜大学地域科学部・教授(地理学) アイサワ工業株式会社名古屋支店次長・技術士	富樫幸一 國枝重一	平成 22年 10月 21日 平成 22年 11月 30日	羽島市役所 区画整理課	羽島市都市再生整備計画 画評価委員会設置要綱	羽島市役所
その他の委員	江吉良長生会副会長 岐阜羽島インター南部東地区開発推進協議会理事 元駅東土地区画整理審議委員 羽島市交通安全連絡協議会福寿支部長 駅北本郷まちづくり委員会会長 羽島市消防審議会委員	近藤英文 鈴木寿昭 瀬古善一 田中良三 番 幸一 古野恵美				

審議事項 1	委員会の意見	
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って、事後評価が適正に行われたことが確認された。
	成果の評価	居住人口については、目標値を達成できなかったが、社会的には人口が減少傾向にあり、羽島市の都心エリアにおいては人口が増加した点については評価された。
	実施過程の評価	ワークショップの実施が事業の効果発現に寄与している。
	効果発現要因の整理	ワークショップやまちづくり委員会を開催し、地元の意見を取り入れ事業に反映させたと認められた。
	事後評価原案の公表の妥当性	インターネットや広報により、適切に公表されたことが確認された。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続き及び内容は妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	雨水による浸水のおそれがなく防災面において長けていることをアピールしていく。 羽島市は日本の中心に位置し、恵まれた地理的特性を生かすため、物流・商業を担う地域を目指していく。 周辺の市町の中心的な役割を果たせるようなまちを目指していく。 電線の地中化を図り景観に優れたまちづくりを目指す等の具体的なビジョンを持ってまちづくりを進めていくことが必要であると思う。 大垣一宮線より北側の道路はほとんどが幅員6m、幹線道路は14mとなっており、周辺地区が今後どういう形で発展し、住宅化が進行していくのか検討してほしい。
	フォローアップ	フォローアップを確実に実施して、市民に公表するようこの意見があった。
	その他	市街地内に住宅地が統一されておらず、農地が点在しているため道路が汚れる等の問題が挙げられる。 インター南部地区については、企業誘致を促進していく必要がある。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	特になし	

1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考してください。

# 都市再生整備計画（第5回変更）

ぎふはしましんとしんちく  
岐阜羽島新都心地区

ぎふけん はしまし  
岐阜県 羽島市

平成22年11月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	はしまし 羽島市	地区名	なほ はしましんとしんまく 岐阜羽島新都心地区	面積	187 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

### 目標

岐阜県の玄関口としての機能を生かした拠点づくりを行い、地域の活性化を図る。  
 目標1：JR新幹線岐阜羽島駅と岐阜羽島インターチェンジを結ぶバイパス的な道路網を構築し、ネットワークの拡大を図る。  
 目標2：公園及び消防水利施設の整備により、安全で快適な居住環境の形成を図る。  
 目標3：立地条件を活かした基盤整備を行い、企業を誘致することで低未利用地の減少を図る。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

羽島市は、過去5年間に人口が2.6%増加している。その中でも本地区は市の中央部に位置し、中心市街地の一翼を担っている。西はJR新幹線岐阜羽島駅に接し、東には都市計画道路上中岐阜線が南北に走り、南は名神高速道路岐阜羽島インターチェンジに接する立地条件を有している。昭和38年に274haの都市計画決定を実施し71haが整備済、47haが整備中である。昭和46年には市街化区域の指定を行ったが、土地利用としては、地区の多くを農地が占めている。インター南部地区は、市街化調整区域であるが、ガソリンスタンド等の沿道開発が進行しており、広域商業施設や物流企業等の誘致に対応できるような基盤整備が求められている。また平成12年に開校された県立看護大学の立地を活かした土地利用は進んでいない状況である。

駅東土地区画整理事業（60ha）を平成6年から施行し、平成18年度に事業が完了した。平成13年度にはインター北土地区画整理事業（23ha）、平成19年度には駅北本郷土地区画整理事業（23.3ha）に着手している。インター北地区については、上位計画において駅東土地区画整理事業区域と併せ、新たな都市核として位置づけ、土地区画整理事業の推進により交流機能を有した都市基盤の整備を進めている。インター北地区内には、都市計画道路も計画されており、駅東土地区画整理事業と一体的に都市基盤の整備を進めている。JR新幹線岐阜羽島駅と岐阜羽島インターチェンジを最大限に生かし、これらを結ぶアクセス道路を整備することにより、高度な土地利用を促進する。また公園等の整備を行うことにより良好な居住環境を確保し、併せて人口増（人口定着）に努めている。

平成16年に岐阜羽島新都心地区（412ha）の土地利用調整計画を策定し、羽島駅南の繊維問屋街地区の活性化を目的としたワークショップの開催や羽島駅の利用環境向上のためのバリアフリー化等の推進、バスターミナルの設置に向けた社会実験を行っている。

インター南部地区には平成18年度に約8haの大規模商業施設が outlets した。当地区は、流通業務・サービス業務等の立地条件を満たしているため、平成10年度に企業立地促進条例を制定し、企業誘致の促進を図っている。緊急車両の進入が困難な狭小な道路が多く、避難場所となる公園が確保されていない状況である。

#### 課題

昭和46年には市街化区域の指定を行い、都市計画道路も計画決定されているが、基盤整備の遅れにより地区内道路の整備水準が低い。さらに幅員3m程度の狭小な道路が多く、道路密度も低い。排水施設は用排水兼用のプレハブ水路がある程度である。

本市の都市公園面積は、市民一人当たり5.28㎡と低い水準にある。本地区内は市内の人口増加の中核を担う場所でありながら市民一人当たりの整備率は2.1㎡と非常に低い。そこで公園整備の遅れに対する早急な対応が必要である。

駅東土地区画整理事業は平成18年3月をもって完了したが、公園整備が遅れているため早急に安全で快適な居住環境の形成が急務である。

インター南部地区では地区内のほとんどが農地であり、大規模な土地利用も可能な地区であるが、地区内部に進入する道路が狭小で整備されていないため企業進出の妨げとなっている。

地区面積187haのうち59haは未整備である。その中でも駅北本郷地区は商業及び住宅地としての市街化形成を目指した住民の意識が高まっており、土地区画整理事業による基盤整備が求められる。未整備の地区では道路が狭いため緊急車両の進入が困難で消防活動の遅れが懸念されている。このため、避難場所及び避難経路の確保が望まれている。

#### 将来ビジョン（中長期）

・上位計画では、駅周辺土地区画整理事業に位置づけた274haのうち、施行済及び現在施行中の土地区画整理事業地区を新たな都市核と位置づけ、良好な都市的環境と交流機能を有した市街化に向けた基盤整備を図ることで住宅供給が促進され、人口の定着を目指す。

インター北地区及びインター南部地区の企業誘致をさらに促進するとともに、地権者及び地元自治委員を交えた「まちづくり推進協議会」を母体として、企業と住民の共存できる環境整備（路上駐車や交通事故防止等の交通問題、日照権や車の排ガス、振動、騒音等の環境問題等）に取り組む予定である。

・基盤整備を行うことで、流通業種・サービス業種等の企業誘致を図り、さらなる雇用機会の増加を目指す。また、JR新幹線や高速道路の利用促進にもつながる。

・道路整備とともに住民の憩いの場である公園も同時に整備され、より一層岐阜県の玄関口としてふさわしい秩序ある市街化の形成が図られ、需用と供給の関係によりさらなる人口流入が期待される。

・道路網を構築し、公園及び防火水利施設を整備することにより、安全で快適に暮らせる災害に強いまちを形成する。

・羽島市を牽引する活力の源として「岐阜羽島新都心地区」を位置づけ、改めて「広域交流の顔」として、物・情報が集まる拠点の形成を目指す。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	目標値	
					基準年度	目標年度	
1.居住人口	人	地区内に居住する人口	道路や公園などの整備促進により、地区内の居住人口の増加を目指す。	4,903	5,300	平成17年度	平成22年度
2.インター南部地区住民不満率の改善	%	地域に不満を持つ人の割合をアンケートにより算出	インター南部地区の土地所有者から要望の高い、大規模商業施設、物流系業務施設等の立地誘導をすることで、土地活用に対する地域住民の不満を解消する。	69	35	平成16年度	平成22年度
3.消防水利施設整備面積率	%	地区の総面積に対して、消防水利施設が整備されている面積の割合	消防水利施設を整備することで、安全性の高いまちづくりを目指す。	55	75	平成16年度	平成22年度
4.地区内の1人当たりの公園面積	㎡ / 人	地区内に居住する一人当たりの公園面積	潤いや憩いの場となる公園を整備することで、より安全性の高い住環境を提供する。	2.1	3.0	平成16年度	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針 1 (道路網の構築)</b></p> <p>区画道路を整備することにより、JR新幹線岐阜羽島駅と岐阜羽島インターチェンジという2つの広域交通拠点最大限活かしたバイパス的な道路網を構築し、ネットワークの拡大を図る。</p> <p>岐阜県の玄関口としてふさわしい秩序ある市街化の形成が図られるとともに、にぎわいと交流を創出するターミナル機能を強化し、整った都市基盤と利便性の高い交通結節機能を活かした居住人口の増加に努める。</p> <p>生活道路として地域住民の足を確保することにより、新たな地域間交流が生み出される。</p>	<p><b>【區幹事業】</b>            土地区画整理事業 (ｲﾝﾀｰ北地区)            土地区画整理事業 (駅北本郷地区)            道路 (ｲﾝﾀｰ長間線)            道路 (江吉良中1号線)            道路 (東郷中6号線)            道路 (長間西4号線)            道路 (江吉良村前6号線)            道路 (神宮2号線)            道路 (大門先1号線)            道路 (千代田1号線)</p> <p><b>【提案事業】</b>            事業活用調査 (本郷地区、区画整理立ち上げ支援)            まちづくり活動推進事業 (都市計画道路交差点検討)</p>
<p><b>整備方針 2 (生活環境の向上)</b></p> <p>土地区画整理事業により配置された公園用地を活用し、施設等の整備をすることにより憩いと安らぎの場を提供する。</p> <p>ワークショップを開催し、地域住民の意見を尊重した整備構想の策定を行う。</p> <p>生活の快適性向上に資する道路・公園及び施設の整備により、防災面が強化され安全性の高く良好な居住環境が形成される。</p> <p>長寿社会への移行、ライフスタイルの多様化等を背景として、ゆとりある生活を営むことを求める居住ニーズに対応した住宅供給を図る。</p>	<p><b>【區幹事業】</b>            土地区画整理事業 (ｲﾝﾀｰ北地区)            土地区画整理事業 (駅北本郷地区)            道路 (ｲﾝﾀｰ長間線)            道路 (江吉良中1号線)            道路 (東郷中6号線)            道路 (長間西4号線)            道路 (江吉良村前6号線)            道路 (神宮2号線)            道路 (大門先1号線)            道路 (千代田1号線)            公園 (駅東地区1号公園)            公園 (駅東地区2号公園)            公園 (駅東地区4号公園)            公園 (ｲﾝﾀｰ北地区2号公園)            地域生活基盤施設 (新設防火水槽)            地域生活基盤施設 (自転車駐輪場)            地域生活基盤施設 (新設消火栓)            地域生活基盤施設 (福寿小学校プール新築)</p> <p><b>【提案事業】</b>            まちづくり活動推進事業 (江吉良・舟橋公園ワークショップ)            まちづくり活動推進事業 (都市計画道路交差点検討)            地域創造支援事業 (上水道設置)            地域創造支援事業 (都市ガス整備)            地域創造支援事業 (下水道整備事業)            事業活用調査 (本郷地区、区画整理立ち上げ支援)            事業活用調査 (ｲﾝﾀｰ南部地区、地区計画関連図書作成)</p>
<p><b>整備方針 3 (企業の誘致)</b></p> <p>地区全体の土地評価を高めるため、一体的な土地利用を行い計画的な誘導を図る。</p> <p>広大な農地を利用した大規模な土地利用に転換し、もの交流を促す役割を担っていく。</p> <p>周辺事業者への影響や交通環境等に配慮した商業誘致を目指す。</p> <p>インターチェンジを活用した商業・物流業務の誘致・集積を図るとともに、県立看護大学の立地を生かした医療・保健・福祉関連の機能の誘致に努める。</p>	<p><b>【區幹事業】</b>            土地区画整理事業 (ｲﾝﾀｰ北地区)            土地区画整理事業 (駅北本郷地区)            道路 (ｲﾝﾀｰ長間線)            道路 (江吉良中1号線)            道路 (東郷中6号線)            道路 (長間西4号線)            道路 (神宮2号線)            道路 (大門先1号線)            道路 (千代田1号線)</p> <p><b>【提案事業】</b>            地域創造支援事業 (上水道設置)            地域創造支援事業 (都市ガス整備)            地域創造支援事業 (下水道整備事業)            事業活用調査 (ｲﾝﾀｰ南部地区、地区計画関連図書作成)</p>
<p><b>その他</b></p> <p>事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>住民参加型のまちづくりとして、当地区では公園整備についてのワークショップを開催する。ワークショップで得られた整備構想をもとに公園整備を実現していく。</p> <p>区画整理事業の意向調査結果により、住民の意向を配慮し、事業化に向けて進めていく。</p> <p>東海道新幹線岐阜羽島駅及び名神高速道路岐阜羽島インターチェンジの機能を活用するプロジェクトの優先的推進</p> <p>2大交通拠点機能を同時に活用するプロジェクトが、新都心地区の活用性を図るうえで優先される事業である。そのため、2つの拠点の連携を促進する施策である観光交流やパーク＆ライドの機能を強化する新幹線岐阜羽島駅周辺地域への「交流拠点(ｲﾝﾀｰ)の設置」と、岐阜羽島ｲﾝﾀｰ南部地区への企業誘致を促める「商業・物流等の立地誘導」を先導的なプロジェクトとして位置づけ、関係者の理解と参加・協力を得ながら優先的に推進していく。</p> <p>プロジェクトの連鎖による土地利用調整計画の推進</p> <p>新幹線駅やインターチェンジ等都市インフラの魅力を活かした商業・業務用地としての充実に努めるとともに、交通環境の利便性を享受する居住空間「都心居住」の形成を図る。</p> <p>・2大交通拠点を活用する先導的プロジェクトを推進する一方で、その他のプロジェクトについては、県、国、市、県立看護大学、企業、地権者、関係機関等が協力しながら、先導的プロジェクトと連動させながら推進していく。</p> <p>新規採択に向けた庁内関係各課との調整</p> <p>・8月29日にまち総からまち交への切り替えについて協議</p> <p>・9月27日にまち交の事業内容抽出</p> <p>・10月19日に事業内容取りまとめ</p>	

